

会報・案内

平成13年度第4回理事会議事録

- 日時：平成13年8月25日(土)、26日(日)
 場所：25日 京王プラザホテル43階コメット
 18:00～21:00,
 26日 京王プラザホテル42階武蔵 9:00～13:00
- 出席：山田龍作会長，隈崎達夫総務理事，阿部公彦，
 石垣武男，板井悠二，打田日出夫，酒井邦夫，
 高橋睦正，平木祥夫，平松慶博，増田康治，
 山下 孝各理事
 小西淳二，利波紀久各監事，
 竹田 寛第37回秋季臨床大会長
- 欠席：遠藤啓吾理事
- 議題
1. 前回議事録の承認
 2. 第61回日医放総会について
 3. 第37回秋季臨床大会について
 4. 第12回一次・第10回二次専門医認定試験結果
 5. 放射線科専門医修練機関・協力機関新申請 認定および承認
 6. 平成13年度放射線科専門医更新者について
 7. 平成13年度医学物理士更新者について
 8. 日本医学会総会単位増加について
 9. 将来計画委員会よりの答申について
 10. JMCPについて
 11. 定款変更について
 12. JRSメールマガジンについて
 13. WEB PAGE 連絡協議会について
 14. 日医放から医学放射線物理連絡協議会への代表者1名の追加
 15. 医療用標準線量研究会担当理事の選任
 16. 乳房撮影委員会 - デジタルマンモグラフィ評価基準作成小委員会委員承認の件 -
 17. ネットフォーラムについて
 18. ICRP調査研究連絡会継続参加のお願いについて
 19. ECRにおけるJRSの広報活動について
 20. 核医学吸収補正用線源の安全取り扱いガイドライン(案)
 21. 会告の承認
 - 7月号 第61回日本医学放射線学会総会案内 III
 日本医学放射線学会第4回優秀論文賞について
 放射線科専門医修練機関認定および協力機関承認について
 - 8月号 平成14・15年度評議員・代議員選挙権有資格者氏名予告
 第13回骨軟部放射線研究会案内
 第54回心臓血管放射線研究会案内
 - 9月号 平成13年度放射線科専門医更新認定者氏名
 放射線科専門医認定試験
 第12回一次試験結果

第13回二次試験結果

第4回医学物理士更新認定者氏名

10月号 日本医学放射線学会次々々期会長選挙について

22. その他

報告事項

1. 委員会報告

第1回・第2回医学放射線物理連絡協議会

第52回医学物理士認定委員会

平成13年度第1回財務委員会

平成13年度第2回乳房撮影委員会

平成13年度第2回広報委員会

健保・健保実行委員会

2. その他

参考資料

平成14, 15年度代議員・評議員・理事・監事選挙日程(案)

次々々期会長選挙日程(案)

第14回 平成13年度優秀論文選考日程(案)

平成13年度前半期 新入・退会・死亡者名

4年末納者名簿

第12回一次・第10回二次専門医認定試験受験者名簿および筆記試験問題

議事

議事に先立ち山田龍作会長より挨拶があり、議事進行については隈崎総務理事が行うことを提案され了承された。

1. 第3回理事会議事録(案)を一部訂正のうえ承認した。

2. 山田会長から資料に基づき第61回日本医学放射線学会総会の合同企画案である特別講演者、インターネットによるIVR国際会議開催期日、合同パネルディスカッション、日本医学放射線学会総会の特別講演者・招聘講演者のお名前と演題名、オンライン登録のシステム登録が終了、8月22日より登録受付開始、学会ホームページ完成、日医放のホームページとのリンク依頼中について準備状況の説明がなされた。

3. 竹田大会長より第37回日本医学放射線学会秋季臨床大会の準備状況について説明がなされた。一般演題、教育展示、ROC画像等の進捗状況、また東海地区の放射線技師(学生対象)にセミナーも開催する予定である旨報告があった。

4. 第12回放射線科専門医認定一次試験および第10回放射線科専門医認定二次試験結果の承認

8月24日に京王プラザホテルで行なわれた第12回放射線科専門医認定一次試験は、受験資格者288名中欠席者12名で、276名受験し、219名を合格と判定した。

また、8月24日、25日に行なわれた第10回放射線科専門医認定二次試験は、受験資格者231名中欠席者9名で、222名受験し、169名合格と判定したとの放射線科専門医認定委員会の判定を承認した。

5. 放射線科専門医修練機関・協力機関新申請 認定および承認

既に7月号に掲載された放射線科専門医修練機関・協力機関新申請 認定および承認について担当理事の平木理事より報告がありこれを承認した。

6. 平成13年度放射線科専門医更新者について

平木担当理事より資料に基づき説明がなされた。

2001年度更新対象者は旧制度専門医合格者1,323名中、1,219名が有効期限2006年8月31日まで、54名が終身、猶予申請者19名、未申請27名、専門医返上4名、新制度専門医合格者156名中、153名が有効期限2006年8月31日まで、猶予申請者2名、未申請1名、また2000年度認定猶予から追加更新認定者3名との報告がありこれを承認した。

7. 平成13年度医学物理士更新者について

酒井担当理事より資料に基づき説明がなされた。平成13年度医学物理士資格認定者は92名、永年資格者は17名との報告がありこれを承認した。また、第15回(平成13年度)医学物理士認定試験の受験者認定について15名の応募者があり、10名について受験資格を有することを認めたとの報告がありこれを了承した。

8. 日本医学会総会単位増加について

日本医学会総会の杉岡洋一会長から山田会長宛に日本医学会総会参加についての認定単位数の増加に関する手紙が届いた件について平木担当理事より説明がなされた。理事会で検討後、現在3単位であるがそれを5単位に変更することを決定した。

9. 将来計画委員会からの答申について(資料1,2)

石垣担当理事より資料に基づき説明がなされた。将来計画委員会から英文誌については現行のRadiation Medicine(以下、RM誌)を日本医学放射線学会の英文機関誌として年6号発行、和文誌については平成14年、15年は年間12号の発行を継続し、その結果をみて発刊について15年度に再評価を行なうこと、また雑誌刊行予算を検討する場合、版權譲渡の案が出版社より出されているのでこれを検討いただきたいとの答申が出された。また、これを受け財務的な観点から財務委員会が検討を行なった件について酒井理事より資料に基づき説明がなされた。各委員会からの意見を基に理事会で慎重に審議を行なった結果、学会誌の刊行は和文誌、英文誌の二本立てとし、それぞれの年間発行号数は6号とすることが妥当であること、並びに現行の和文誌年間12号刊行の体制から、和文誌と英文誌の二本立てに移行する時期については明示しないが、可及的早期に移行すべきであるとの結論が出された。英文誌についてはRM誌を機関誌として認めるか否かについては、RM誌の版權は現在メディカルトリビューン社に帰属しているためRM誌を本学会の英文誌とするためには版權を譲り受ける必要があることから、継続審議とすることとした。また将来計画委員会の答申に対する理事会の見解を出すこととした。

10. JMCPについて

隈崎総務理事より前回のJMCP理事会にて英文名称問題が討議されたことが報告された。これによれば、日医放は、Radiologyを明確化するためには英文名称を現在のJMCPからJRCに変更すべきである、JIRAは現在の英文名称が時代の動向にかならずしも合致しているとは思えず、名称変更の時期ではあるが、JRC名についてはもう一度JIRA理事会で検討したい、日放技理事会では現在の名称を継続使用する意見が多数であった。さらに、山田会長より第61回総会のポスターに使用する名称について質疑があり、討議の結果英文略称名を使用せず日本ラジオロジー振興協会名を掲載する

ことが了承された。その後、JMCPの英文名称にとどまらず、JMCPの基本的理念、組織のあり方、規約、なすべき活動等JRSが主体性をもって改革を進めるべきであるとの議論がなされ、この意見を日医放理事会の総意として隈崎総務理事がJMCP理事会に報告することとした。

11. 定款変更について

定款変更については継続審議を行なうことを確認した。

12. JRSメールマガジンについて

山下担当理事より既に広報委員会から学会にメールアドレスを登録している会員宛送付を行なっているメールマガジンについて、学会にメールアドレスを登録していない会員にもメールマガジンをアナウンスするために会告として会誌に掲載していただきたい旨の提案が出され、これを了承した。

13. Web Page 連絡協議会について

前回の理事会で既に承認されたRad Webについて山下担当理事よりWeb Page連絡協議会規約(案)およびWeb Page連絡協議会入会申込書(案)について説明がなされた。理事会で検討後、これを了承した。

14. 日医放から医学放射線物理連絡協議会への代表者1名の追加について

酒井担当理事より第1回の医学放射線物理連絡協議会が6月9日に開催され、この日より発足したとの報告があった。本会の構成、および運営体制について説明があり日医放より代表者を1名追加いただきたい旨の報告があり、理事会で検討後、放射線診断部門から平松理事にお願いすることとした。

15. 医療用標準線量研究会担当理事の選任

医療用標準線量研究会・星会長より日医放理事会から正式な担当理事を推薦いただきたいとの依頼があり理事会で検討後、酒井理事にお願いすることとした。

また財務委員会より医療用標準線量測定の手数料として学会に支払う金額について検討いただきたいとの意見が出され理事会で検討後、医療用標準線量研究会の意見も伺いながら検討を進めることとした。

16. 乳房撮影委員会 - デジタルマンモグラフィ評価基準作成小委員会委員承認の件 -

石垣担当理事より第1回デジタルマンモグラフィ評価基準作成小委員会を開催したがその席で委員の強化をはかる為に3名の委員追加をご承認いただきたいとの意見が出された。理事会で検討後これを了承した。

17. ネットフォーラムについて

隈崎総務理事より経済産業省およびNEDO主催で行なっているネットフォーラムについて資料に基づいて説明がなされた。既に医療機器開発のコンソーシアムが発足しており、その実行委員会の委員である平岡真寛先生(京大)より親委員会に日医放から隈崎総務理事に参加いただきたいとの意見が出された。検討後、日医放代表として隈崎総務理事に参加いただくこととした。

18. ICRP調査研究連絡会継続参加のお願いについて

学会宛に放射線影響協会からICRP調査研究連絡会継続参加のお願いの手紙が届いたとの報告があり、検討後これを了承した。

19. ECRにおけるJRSの広報活動について

高橋理事よりECRの事務局から第37回秋季臨床大会の時にPR活動を行ないたい、またECR2002の時にJRSの広報活動を行なっては

どうかとの手紙が届いた件について説明がなされた。ECRのスケジュール、ブースの条件など確認をする必要があるため国際交流担当の板井理事と山田会長でECR事務局に連絡を取ることにした。また、RSNAでの広報活動に関する件についてはJMCPの青木事務局長にRSNAから連絡が入っているかどうか、料金はどのようになっているか確認することとした。

20. 核医学吸収補正用線源の安全取り扱いガイドライン(案)

遠藤担当理事が海外出張中のため阿部理事が資料に基づいて説明がなされた。

理事会で検討後、SPECT・PET装置の吸収補正用密封線源の安全取り扱いガイドライン(案)を承認することとした。

21. 会告の承認

7月号 第61回日本医学放射線学会総会案内 III
日本医学放射線学会第4回優秀論文賞について
放射線科専門医修練機関認定および協力機関承認について

8月号 平成14・15年度評議員・代議員選挙権有資格者氏名
予告

第13回骨軟部放射線研究会案内
第54回心臓血管放射線研究会案内

9月号 平成13年度放射線科専門医更新認定者氏名

放射線科専門医認定試験

第12回一次試験結果

第13回二次試験結果

第4回医学物理士更新認定者氏名

10月号 日本医学放射線学会次々々期会長選挙について

22. その他

1)日本放射線腫瘍学会より、放射線治療患者の診療病歴の長期保存に関する要望(案)について関係官庁・諸団体・学会に連盟で要望したい旨の手紙が届いた。理事会で検討後これを了承することとし、日本放射線腫瘍学会へ酒井理事から連絡をすることとした。

2)第9回日本がん検診・診断学会総会がん検診連絡学会連絡協議会開催のご案内が学会事務局に届いた。理事会で検討し、日本医学放射線学会より高橋理事に代表でご出席いただくこととした。

3)平成13年度第1回理事会で各種賞推薦規定について担当理事を検討する事になっていた件についてまだ規定が出来ていないので放射線影響研究功績賞候補者の推薦依頼があった場合は今年度は山田会長、隈崎総務理事、阿部庶務理事が検討することとし、これを了承した。

報告事項

1. 委員会報告

1)第1回・第2回医学放射線物理連絡協議会

酒井担当理事より第1回の委員会では本会設立の経過報告の後、本会の構成、運営体制等について審議し、本日をもって発足することが承認されたこと、また虎ノ門病院事故調査について話し合いが行なわれたこと、第2回協議会は8月21日に開催され、

虎ノ門病院事故調査報告書(案)および今後同様の事故を繰り返さないための提言(案)について検討を行なったとの報告があった。

2)第52回医学物理士認定委員会

酒井担当理事より平成13年8月3日開催された医学物理士認定委員会の報告があった。第15回医学物理士認定試験の受験資格者の決定、試験問題作成委員の決定、第4回医学物理士更新認定、第1回医学物理士永年資格の認定、医学物理士認定制度について審議を行なった。医学物理士認定制度については医学物理学会が発足したことに伴い、医学物理士認定事業を同学会に移管してはどうかとの意見が出されており、これについて医学物理対策委員会で新制度を検討中であり、案がまとまった時点で医学放射線物理連絡協議会に提出の予定であるとの説明がなされた。

3)平成13年度第1回財務委員会

酒井理事より第1回財務委員会が平成13年8月7日に開催されたとの報告があった。委員会でJRSの会計の現状を説明し検討を行なった。将来計画委員会答申をふまえた雑誌刊行予算の検討(議事9)、医療用線量計比較校正事業の会計処理については会計処理を明確にするためフローチャートを作成、作業に伴う手数料の検討、JRS総会開催時における各種委員会費用については学会から昼食代は支出するが会場費についてはJMCPに支払い要請したとの報告がありこれを了承した。

4)平成13年度第2回乳房撮影委員会

石垣担当理事より第1回デジタルマンモグラフィ評価基準作成小委員会が開催されたとの報告があった。理事会としても早期にデジタルマンモグラフィ評価基準の検討を急ぐよう再度要請が出された。

5)平成13年度第2回広報委員会

山下担当理事より7月11日開催された委員会の報告があった。広報紙の発行については版権の確認中、またポスターについては日本放射線技術学会と連盟で出したいと考えている、メールマガジンについては約2,500人の会員に送信しているとの報告があった。

6)健保・健保実行委員会

阿部担当理事、遠藤担当理事より平成13年5月と7月に健保実行委員会と専門医保健委員会の合同委員会が開催され、平成14年の診療報酬改正に向けて活動中との報告があった。

2. その他

1)第14回平成13年度優秀論文賞選考日程(案)が出され了承された。

2)平成14、15年度代議員・評議員・理事・監事選挙日程(案)について阿部庶務理事より説明があった。選挙管理委員は各地方区から代表者を推薦し、また評議員の選挙以降の開票(理事、監事)については関東地区代表の選挙管理委員に立ち会いを要請する件について理事会で了承した。

3)平成13年度前半期 新入・退会・死亡者名

新入会者数247名、退会者数66名、死亡者数10名のそれぞれの氏名が公表され、これを了承した。

4)平成13年度4年会費未納者について氏名が公表された。8月末まで入金がない場合は自然退会とすることを確認した。

(資料.1)

平成13年6月20日

社団法人日本医学放射線学会
山田龍作会長殿

社団法人日本医学放射線学会 将来計画委員会
委員長 石垣武男

日本医学放射線学会機関誌に関する将来計画委員会における検討を酒井会計担当理事を含めて平成13年4月6日、同年6月13日の2回開催し結論を得ましたのでここに答申いたします。

答申内容

1. 英文誌については現行の「Radiation Medicine」を日本医学放射線学会の英文機関誌として年6巻発行する。
2. 和文誌については平成14年、15年の2年間は年間12巻の発行を継続する。しかし、和文誌の原著が少なくなっていることは事実であるので種々の企画を立て和文誌の充実を計る。その結果で発行について平成15年度に再評価する。

3. 著作権譲渡について

現行のRadiation Medicineの著作権は現在Medical Tribuneが有しているが、和文誌に関しても著作権を譲渡することにより日本医学放射線学会が負担する出版費を大幅に減額できる可能性があるためコストを論じる際の最優先事項として位置付ける。

補足事項

1. 英文誌を全会員に配布するのか、希望者に配布するのか、現行のオンラインで提供するのかについてはコストとのバランスもあるので理事会で決定していただきたい。しかし、インパクトファクタ取得に向けて会員のなご一層の努力が必要である。

2. 和文誌の企画案

イ)原稿投稿料を無料とする。

ロ)専門医認定試験に際して、症例報告など日本医学放射線学会誌への投稿の業績を高く評価する。受験の資格に「症例報告などの投稿実績」を加えるかなどについては理事会で決定していただきたい。

ハ)高品位な総説・レビューを含む特集企画を積極的に進める。これにより、最新の研究に関する情報誌としての性格に加え、学会員に対する教育・啓蒙、放射線医学の現状を世に知らしめる効果が期待できる。

(二)関連学会に関する諸々の情報を掲載し、会員に対する情報源とする

(ホ)その他

3. 著作権譲渡

著作権譲渡に関しては今回見積もりを依頼した3社のうち他の2社はその意志はないため、Medical Tribuneに対して著作権譲渡の条件とコストとの関係について資料提出を依頼することとした。ただし、著作権譲渡した場合でも発行の企画等に関して編集委員会、すなわち日本医学放射線学会の主導のもとにこれを行なうという大前提は崩さないこととする。

(資料.2)

雑誌刊行のあり方に関する将来計画委員会答申に対する理事会の見解

本学会の雑誌刊行のあり方については将来計画委員会(委員長:石垣武男理事)に諮問していたところであるが、この度平成13年6月20日付で答申を得たので、この答申について理事会において慎重に審議の結果、理事会としての見解を下記のとおり取りまとめたので通知する。

1. 和文誌並びに英文誌の発行と各々の年間発行号数について

将来計画委員会答申の骨子を尊重するとともに、本学会の財政状況を勘案し、さらに財務委員会並びに理事会におけるこれまでの検討結果を総合して慎重に審議した結果、本学会の雑誌刊行は和文誌と英文誌の二本立てとし、それぞれの年間発行号数は6号とすることが妥当であるとする。なお現行の和文誌年間12号刊行の体制から、和文誌と英文誌の二本立てに移行する時期については明示しないが、可及的早期に移行すべきである。

2. 「Radiation Medicine」誌の機関誌化について

答申は「Radiation Medicine」誌(以下RM誌)を本学会の英文機関誌とすることを提案しているが、RM誌の著作権は現在メディカルトリビューン社(以下MT社)に帰属していることから、RM誌を本学会の英文機関誌とするためには同誌の著作権をMT社より本学会に移管する必要がある。この著作権移管が可能かどうかの交渉を進めることから始める必要がある。

3. 著作権譲渡について

雑誌刊行費の削減を図るために著作権譲渡について検討すべきことが答申で指摘されているが、主として次の二つの理由により、理事会としては著作権は譲渡すべきでないとの結論に達した。すなわち、(1)著作権譲渡は学会の事業目的達成手段を放棄することを意味し、定款第4条に抵触するとともに、学会の存続自体に疑問を生ずること、(2)著作権譲渡には著作権法の上からも問題があること、がその理由である。

平成13年8月25日
日本医学放射線学会
会長 山田龍作

学会・研究会等のお知らせ

1. 第11回放射線利用総合シンポジウム
2. 平成14年1月25日(金)
3. NTT大阪内本町会館(定員120名)
4. (社)大阪ニュークリアサイエンス協会事務局
TEL: 06-6262-6540, FAX: 06-6262-6541
e-mail: onsal@nifty.com

第6回宇宙環境利用に関する地上研究公募

公募対象研究分野

微小重力科学, 微小重力物理学, 生物科学, バイオメディカル, 宇宙医学, 宇宙科学, 地球科学, 宇宙利用技術開発の8分野

スケジュール

募集開始: 平成13年12月末(予定)

締切: 平成14年2月28日(木)消印有効

研究開始: 平成14年8月~

問い合わせ先

財団法人日本宇宙フォーラム 公募研究推進部

TEL: 03-3459-1653 FAX: 03-5470-8426

URL <http://www.4.jsforum.or.jp/>

e-mail: koubo@jsforum.or.jp

下田香緒里 Kaori Shimoda

e-mail: shimoda@jsforum.or.jp